

麻酔用電磁マスク

特 願 昭 37- 56221
 出 願 日 昭 37. 12. 21
 発 明 者 出願人と同じ
 出 願 人 高橋 泰
 東京都豊島区西巣鴨 2 の 2217
 代 理 人 弁理士 結城重吉

図面の簡単な説明

図は本発明のマスクを示すもので第1図は正面図、第2図は縦断側面図である。

発明の詳細な説明

本発明はバンドによつて前額部に縛りつけるようにしたホルダーの中に電磁石を取付け、ホルダーの両側板に枢支した吸入マスクと一体のてこ金具を電磁石で吸着離反してマスクを開閉するようにしたものである。

次に図について本発明を詳述すると、バンド1によつて前額部に縛りつける台板2の前面に箱型のホルダー3を突設してその内部にコイル4を巻いた鉄心5を固定し

吸入マスク6の上端に固定したてこ金具7を枢軸8によつてホルダー5の両側板9に枢支し、てこ金具7に永久磁石片10を取付けたものである。なおホルダーの両側板9に切込孔11を設けて枢軸8を掛外してできるようにすれば簡単にマスクを着脱できるものである。

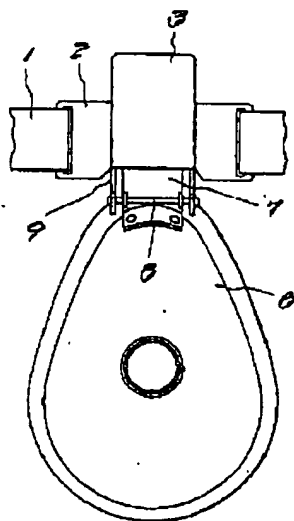
本発明は患者に吸入麻酔を施す場合に台板2を患者の前額部に縛りつけコイル4に直流電流を通ずると電流の方向によつて鉄心5は永久磁石片10を吸着したり或は反撥するためマスク6が開閉されて患者の鼻口を覆い又は開放するのである。従つて電源スイッチの切替えによつて任意に麻酔時間を調節することができる。

以上のように本発明によれば総ての吸入麻酔を施す際に遠隔操作によつて吸入の断続を容易に行い得られ又自動的に制御できる特徴がある。

特許請求の範囲

1 本文に詳記したようにバンドによつて前額部に縛りつけるようにしたホルダーの中に電磁石を取付けホルダーの両側板に枢支した吸入マスクと一体のてこ金具を電磁石で吸着離反してマスクを開閉するようにした麻酔用電磁マスク。

第1図



第2図

